

## 新たな防災拠点「堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点」の始動！

## ～供用式典・合同防災訓練の開催～

西日本で初めてとなる「基幹的広域防災拠点」が、大阪府堺市の堺泉北港堺2区に設置され、4月1日から供用を開始しました。

大規模地震など大災害が発生した際の応急復旧活動の核となる「基幹的広域防災拠点」は、緑地、耐震強化岸壁とこれらを連絡する臨港道路で構成されています。4月21日は、関係機関及び関係自治体が一堂に会した供用式典と、陸・海・空9機関が初動を確認する合同防災訓練を実施いたします。

1. 日時 平成24年4月21日(土)  
供用式典 10:00～10:40  
合同防災訓練 10:50～11:40
2. 場所 堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点(緑地)  
住所 大阪府堺市堺区匠町3番2 地先
3. 主催 国土交通省近畿地方整備局、大阪府
4. 後援 内閣府(防災担当)
5. 内容

## ・第一部 供用式典(40分程度)

## 出席者

国会議員、大阪府、府議会議員  
基幹的広域防災拠点所在市 市長及び議会議員  
堺泉北港所在市 市長及び議会議員  
関係行政機関、関係団体、報道関係者

## ・第二部 合同防災訓練(50分程度)

## 6. 別添資料

- ・堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点位置図 (別添資料-1)
- ・陸・海・空9機関合同防災訓練について (別添資料-2)
- ・式典及び訓練における報道関係留意事項 (別添資料-3)
- ・堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点の概要 (別添資料-4)

## (問い合わせ先)

国土交通省 港湾局 海岸・防災課 災害対策室 長太(ながた)、高橋

【電話】 03-5253-8689

国土交通省 近畿地方整備局 近畿圏臨海防災センター 山田、君島

【電話】 072-221-7301

# 堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点位置図



## 近畿圏臨海防災センターへのアクセス

※なお、会場の関係上、一般の方の見学は受付しておりません。

- 電車でお越しの方**  
 南海電鉄(南海線・空港線)「堺駅」下車  
 ①南海バス(堺駅西口バス停2番のりば)「匠町」行き(S1・S3・S4)へ乗車  
 バス停「匠町」で下車後徒歩25分(約1.7km)  
 ②南海バス(堺駅西口バス停1番のりば)北回り(20)へ乗車  
 バス停「堺浜シーサイドステージ」で下車後徒歩27分(約1.8km)
- お車でお越しの方**  
 阪神高速道路 4号湾岸線「大浜IC」から約6km  
 注)最寄りICは「三宝」ですが、平成25年12月まで閉鎖(工事のため)  
 国道26号線「海山町」交差点を西へ約5km



近畿圏臨海防災センター (支援施設棟)

# 陸・海・空9機関合同防災訓練について

## 合同防災訓練

時刻・場所： 10:50～11:40 緑地および前面海域にて

目的： 東南海・南海地震による大津波の発生を受けた基幹的広域防災拠点の運用を想定。近畿地方整備局をはじめ、自衛隊、海上保安庁など関係機関による合同防災訓練を実施し、より一層の防災・災害時救援機能の向上に資する。

参加機関： 近畿地方整備局、中部地方整備局、第五管区海上保安本部、陸上自衛隊、大阪府、大阪市消防局、堺市、大阪府堺警察署、(社)日本埋立浚渫協会（近畿地方整備局災害協定締結機関）（参加者合計 約120名）

内容：①広報・点検訓練

②負傷者搬送訓練

③航路啓開(油回収)訓練

④緊急物資受け入れ準備訓練

⑤緊急物資輸送訓練

訓練参加船舶機体等：

船名・機名	船種・機種	規格等	所属
(艦艇)			
清龍丸	浚渫兼油回収船	4,792総トン、L=104m	中部地方整備局
Dr海洋	海洋環境整備船	196総トン、L=33.5m	近畿地方整備局
海和歌丸	海洋環境整備船	198総トン、L=33.5m	近畿地方整備局
いこま	海洋環境整備船	162総トン、L=24.3m	近畿地方整備局
いずみ	港湾業務艇	27総トン、L=18.0m	近畿地方整備局
かいりゆう	巡視船	110総トン、L=27.5	第五管区海上保安本部 堺海上保安署
茅海(ぼうかい)	消防艇	43総トン、L=23.4	堺市消防局
おおはま	巡視艇	48.56総トン、L=17.52m	大阪府港湾局
はまでら	巡視艇	36総トン、L=21.7m	大阪府港湾局
(航空機)			
きんき号	防災ヘリ	ベル412EP	近畿地方整備局
おおさか	消防ヘリ	AS365N3	大阪市消防局
すま	海上保安庁ヘリ	MH607	神戸海上保安部 巡視船せつ搭載機
みみずく	海上保安庁ヘリ	MH688	第五管区海上保安本部 関西空港海上保安航空基地
	ヘリ	UH-1	陸上自衛隊
(車両)			
	点検車	ワゴン車	近畿地方整備局
	パトカー		大阪府堺警察署
	広報車		堺市
	救急車		堺市消防局
	トラック×4台	物資輸送用×2台 人員輸送用×2台	陸上自衛隊
	ユニック車×1台	4t	日本埋立浚渫協会
	トラック×2台	10t	日本埋立浚渫協会

## 参加艦艇



清龍丸



かいりゆう



Dr海洋



海和歌丸



いこま



いずみ



茅海(ぼうかい)



おおはま



はまでら

## 参加航空機



きんき号



おおさか



すま



みみずく



UH-1

## 主な参加車両



点検車



救急車

# 合同防災訓練のタイムスケジュール

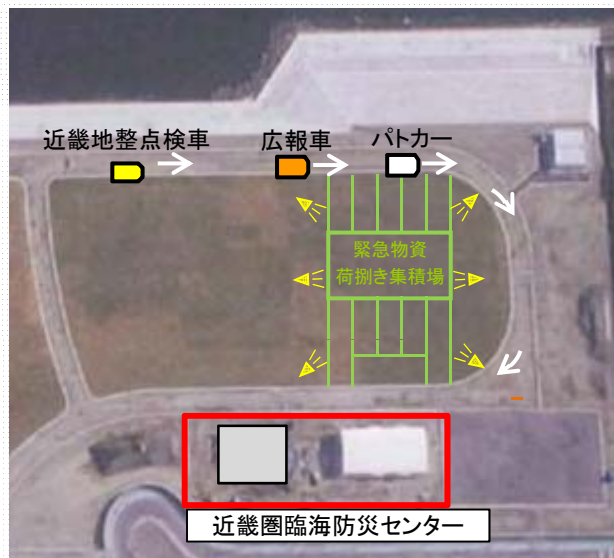
行事(訓練)名	10:00	10:10	10:20	10:30	10:40	10:50	11:00	11:10	11:20	11:30	11:40	11:50	備考
式典	-----												
陸上訓練					①	②		④	⑤				
海上訓練							③						

## ①広報・点検訓練

### 【陸上訓練】(AM10:50~10:52)

- ◆地震発生直後の荷さばき用地内の点検を行う。
- ・パトカー・防災車の先導により、広報車にて基幹的広域防災拠点としての運用開始(一般者の退去)の広報を行う。
- ・その後、点検車にて地震発生直後の荷さばき用地内の施設点検を行う。

【実施機関】 近畿地方整備局、大阪府堺警察署、堺市



## ②負傷者搬送訓練

### 【陸上・ヘリ訓練】(AM10:53~10:57)

- ◆地震による負傷者のうち、救護所でトリアージされた重篤患者を、指定された救急病院にヘリ搬送する。
- ・救急車で搬送された負傷者を消防ヘリで救急病院へと搬送する。

【実施機関】 堺市、大阪市消防局



大阪市消防おおさか



### ③航路啓開(浮遊物回収、油回収)訓練

#### 【海上・ヘリ訓練】(AM10:58~11:11)

- ◆津波による漂流物や流出油で閉塞された航路を、回収船等、関係機関の船団により啓開する。
- ・「きんき号」にて、被災状況を映像伝送。
- ・海洋環境整備船等の「清龍丸」、「Dr. 海洋」、「海和歌丸」、「いこま」や港湾業務艇「いずみ」、海上保安部の巡視船、大阪府の巡視艇、堺市の消防艇により、航路啓開作業を行う。

【実施機関】 近畿地方整備局、中部地方整備局、第五管区海上保安本部、大阪府、堺市

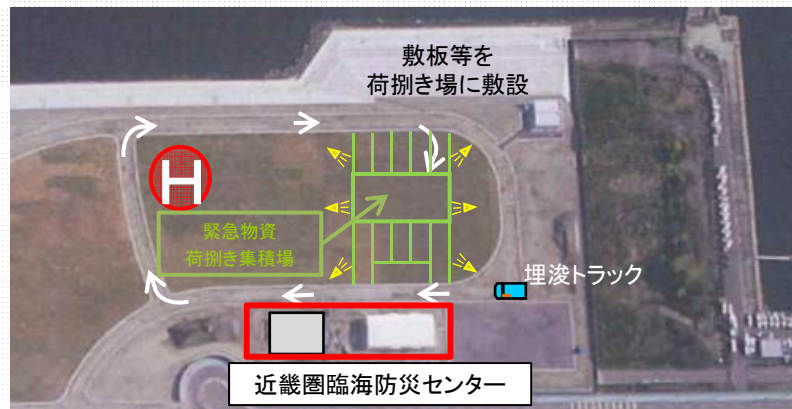


### ④緊急物資受け入れ準備訓練

#### 【陸上訓練】(AM11:12~11:14)

- ◆被災地への緊急物資の供給を行うため、受け入れ用地の整備を実施する。
- ・事前の点検にて不陸等が発見された場所について、荷さばき用地の準備を行う。(敷板、コーン、パレット等の追加設置)

【実施機関】 近畿地方整備局、日本埋立浚渫協会



⑤緊急物資輸送訓練

【陸上・海上・ヘリ訓練】(AM11:15~11:30)

- ◆耐震強化岸壁、清龍丸及び陸上自衛隊ヘリより、搬入された緊急物資を、被災地に向けて搬送する。
  - ・陸上自衛隊ヘリにて搬入された緊急物資をトラックにて搬出する。(近隣被災地へ)
  - ・耐震強化岸壁よりトラック輸送された物資を仕分けして、海保ヘリ(孤立被災地へ)及びトラックにて搬出する。
  - ・清龍丸に海保ヘリが着艦し、緊急物資を搬出する。(医療物資を孤立被災地へ)
- 【実施機関】 近畿地方整備局、第五管区海上保安本部、陸上自衛隊、日本埋立浚渫協会



陸自ヘリ UH-1



海保ヘリ すま



海保ヘリ みみずく



訓練終了



# 堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点供用式典 及び合同防災訓練における報道関係留意事項

堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点の供用式典及び合同防災訓練を下記のとおり案内いたします。

- 日時：平成24年4月21日(土)  
供用式典 10:00～10:40  
合同防災訓練 10:50～11:40
- 場所：供用式典 国土交通省 近畿地方整備局 近畿圏臨海防災センター  
(住所:大阪府堺市堺区匠町3番2)

合同防災訓練 堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点(緑地)及び緑地前面海域

(会場案内図参照)

## 式典及び訓練取材要領

### 1. 事前申し込みについて

当日取材を希望される方は、近畿地方整備局 大阪港湾・空港整備事務所までFAXにて申し込みをお願いします。

<申し込み時の注意事項>

(1)申込期日は厳守でお願いします。(4月19日(木)15時00分 必着)

○申込先(FAX番号) **06-6577-2265**

○担当 近畿地方整備局 大阪港湾・空港整備事務所  
企画調整課 宮部 幸広、宮原 浩一  
TEL : 06-6574-8561

(2)取材申込書に以下の事項を記載してください。

- ①所属クラブ名(例:近畿地方整備局記者クラブ)
- ②会社名及び部署名
- ③取材者の役職・氏名(取材者全員の役職・氏名を記載願います)
- ④連絡先(代表者1名で可)

### 2. 各取材場所での留意事項について(案内図参照)

<受付場所について>

- ・受付場所:近畿圏臨海防災センター供用式典受付会場  
住所 大阪府堺市堺区匠町3番2
- ・受付時間:9時30分から9時55分まで

※10時00分には式典を開始しますので時間厳守でお願いします。

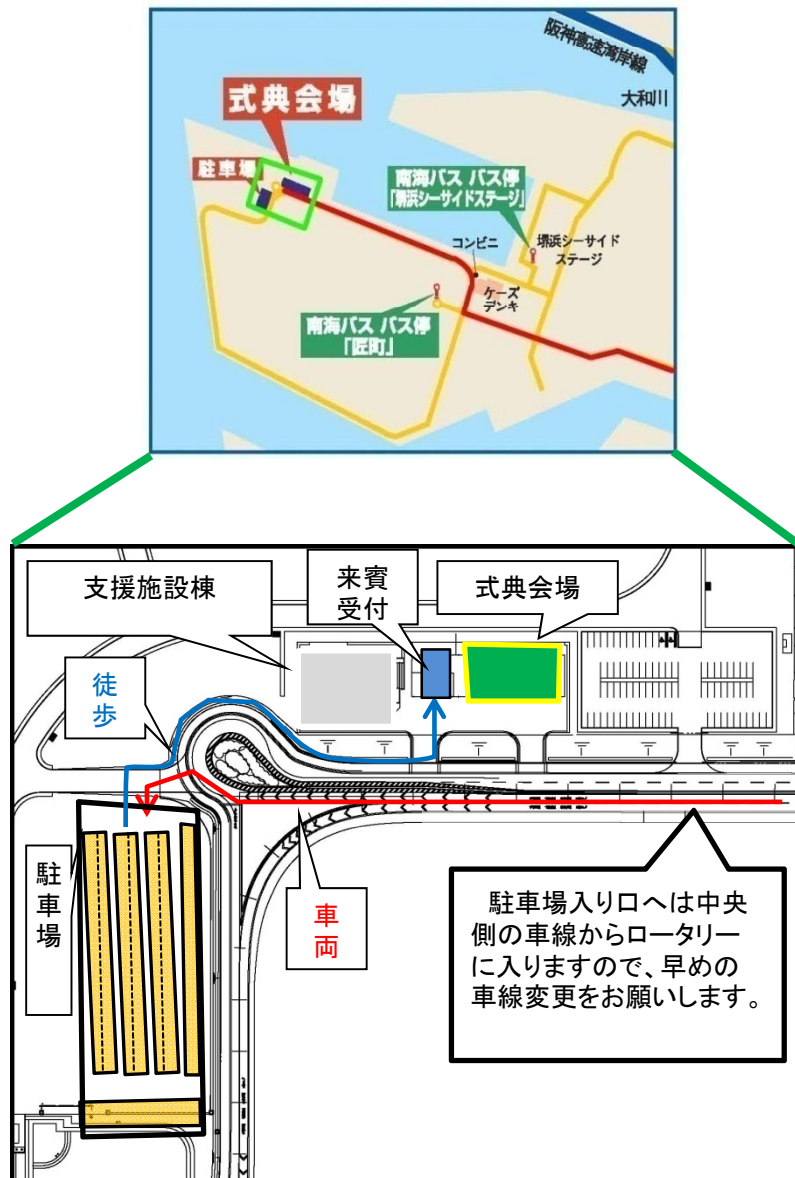
<取材内容について>

- ・供用式典及び合同防災訓練

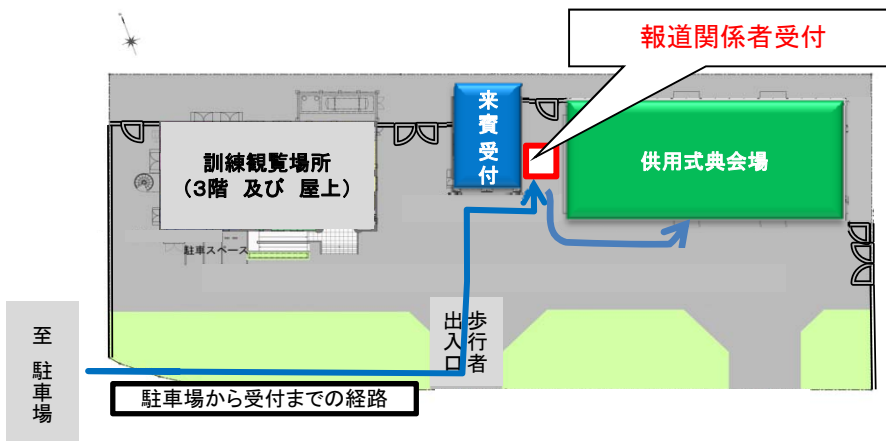
<注意事項>

- ・駐車場所は案内図に示した駐車場を利用して下さい。
- ・供用式典会場及び合同防災訓練は、自由に取材していただいてもかまいませんが、安全確保等の為、一部、立入り規制区域を設定していますので、ご協力をお願いします。(訓練内容(1)～(3)及び取材場所平面図参照)
- ・受付で報道用の腕章を貸し出しいたしますので、常時着用ください。
- ・支援施設棟のエレベータの使用を一時制限することがあります。

供用式典 受付場所(報道関係者) 会場案内図



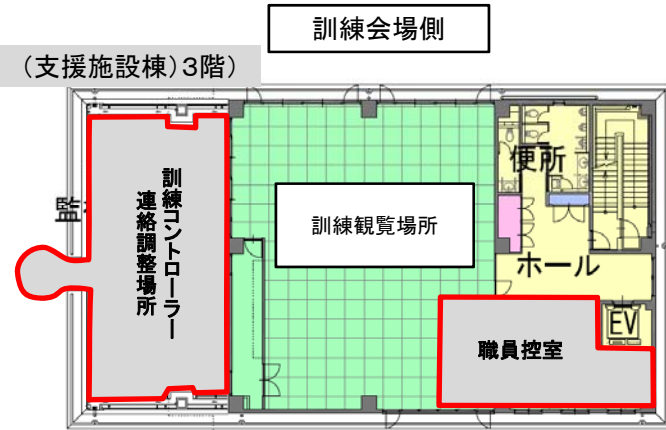
供用式典 受付場所(報道関係者) 会場詳細図  
(近畿圏臨海防災センター 車庫棟 右側)





# 取材場所(立入規制場所) 平面図

## 近畿圏臨海防災センター3階 平面図(1)

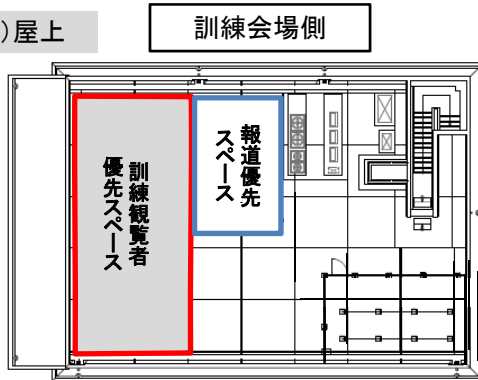


平面図(2)

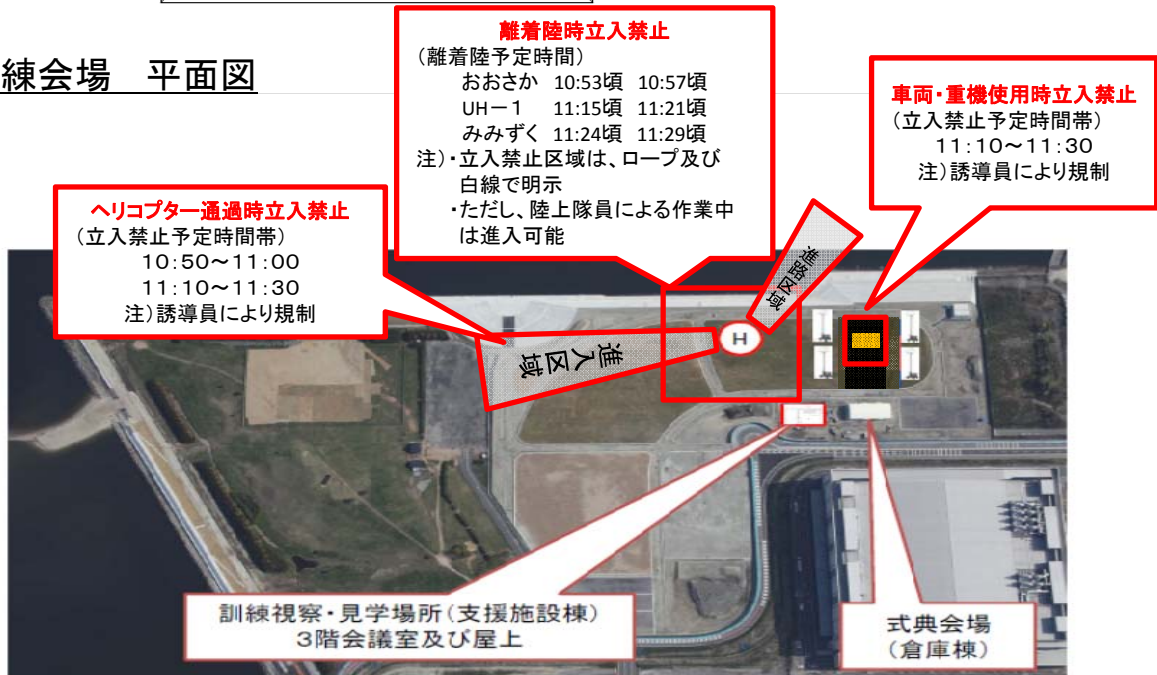
凡 例  
立入規制場所

**注)**近畿圏臨海防災センター(支援施設棟)1階及び2階は、式典・訓練中の立入を規制する区域とします。

(支援施設棟)屋上



## 訓練会場 平面図



# 堺泉北港堺2区 基幹的広域防災拠点の概要

別添資料-4

大規模災害及び府県境界を越えた広域災害発生時に緊急物資輸送の中継拠点や広域支援部隊のベースキャンプとして機能する。平成24年4月1日(日)より供用開始。

- ・全体事業費 ; 187億円
- ・施設規模 ; 緑地27.9ha、臨港道路約3.5km、耐震強化岸壁(水深-7.5m、延長130m)

基幹的広域防災拠点の機能	
<p><b>【救援物資の中継・分配機能】</b> 被災地域外から被災地域内への救援物資の集積、荷さばき等を行う、救援物資の中継分配機能。</p> <p><b>【広域支援部隊の集結地・キャンプ機能】</b> 全国から集結する広域支援部隊や救護班等の一次集結、野営、連絡等を行うことができるベースキャンプ機能。</p>	<p><b>【応急復旧用資機材の備蓄機能】</b> 当該広域防災拠点の応急復旧用資機材等の備蓄機能。</p> <p><b>【海上輸送支援機能】</b> 耐震強化岸壁及び浮体式防災基地を活用した救援物資等の海上輸送支援機能。</p> <p><b>【災害医療支援機能】</b> 臨時ヘリポートを活用し、災害拠点病院などと連携した災害時医療の補完・支援機能。</p>

